

平成 23 年山口県議会議員選挙

岡村候補の政見

東北関東大震災の津波による死者行方不明者が 1 万人を超えた茨城県石巻市に、全国から集まった約 100 人の友人たちがテントで生活しながら、被災者を支援していて、私が研究用に試作した早期設置型シェルター（緊急仮設住宅）も、石巻市立湊小学校で彼らの活動拠点として使用されています。

多くの研究者は巨大地震の可能性を、紀伊半島から高知県沖と予測していただけに、長年、災害対策に取り組んできた研究者の一人として、また政治家として無力さを感じた大震災です。

だからこそ、災害復興支援に全力を注ぎ、将来、必ず来ると予測される南海沖地震への備えと対策に取り組み、「県民の命を守る」という使命を果たす決意です。

さまざまな課題が、私たちの前に立ちふさがっています。日本には今、直面する困難を克服する力強さと、新たな未来を構築する勇気が求められています。

「山口」とは、「先駆けになる」「先陣を切る」という意味があります。明治維新のとき吉田松陰先生や高杉晋作が活躍したこと、8 人の総理大臣を輩出したことも、私たち山口県民の持っている使命と役割がそうさせたのではないのでしょうか。

その背景には、多くの寺子屋が存在した山口県の高い教育力があります。教育は国家の根幹であり、親子や家族の絆を大切に教育が求められて

います。

山口県の未来に対する夢を語り、具体的な未来像を示し実現していく覚悟を、強く持たなければならないと決意しています。

「今、自分にできることを精一杯に」との思いを大切にし、少子高齢化対策、農林水産業の振興、景気・雇用の回復、とくに山口県が将来にわたって確かな存在感を発揮できる地域であるために、持続可能な県政の基盤づくりに取り組みます。

一昨年、不登校や高校中退の子どもたちを支援するため、通信制の高等学校を宇部市吉部に開校しました。これからも『生活者の起点に立った政策を提案し、自ら行動し、夢を形にしていく議員』を目指し、精進して参ります。

岡村候補の公約

防災対策および危機管理体制の確立

教育は国家の根幹、豊かな人間性の育成

地場産業の育成と新規産業の創出による就業促進

自助・共助・公助による絆のある社会の実現 中山間地域対策および農林水産業の振興